

## 臨床研究のお知らせ

当院では下記の研究を行っております。

研究課題： 未発症/発症超早期の家族性(遺伝性)プリオン病の臨床調査研究

この研究は長崎大学と当院を含めた多施設が参加する多施設大規模臨床研究です。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、下記の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究機関】 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

【研究責任者】 寺田達弘、高嶋浩嗣、川口典彦、松平敬史、荒木保清、中川裕亮、小尾智一（脳神経内科）

【目的】プリオン病（Creutzfeldt-Jakob 病（CJD）、ゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー病、致死性家族性不眠症）は、急速に悪化し無動無言に至る疾患で、一度発症すると有効な治療法がないのが現状です。急速進行性である本疾患の治療方法の開発、病態解明には早期診断法の確立が必要です。しかし、現行の診断基準では、発症早期の診断に苦慮することが少なくありません。本研究では、発症前または発症超早期の遺伝性プリオン病の発症リスク保有者の把握及びその未発症の症例の画像検査及び生体材料を採取し、リスク保有者の病態把握および発症に至る経緯を検証します。上記解析にて、早期診断法の確立、治療方法の開発、病態解明につながる可能性があります。

【対象】当院に通院または入院した遺伝性プリオン病およびプリオン病疑い患者、家族に遺伝性プリオン病患者を持つ研究参加希望者を対象とします。

【方法】定期的な診察（神経学的診察、神経心理学的検査）、神経画像検査（頭部MRI、脳血流ECD-SPECT）、神経生理検査（脳波）、プリオンタンパク遺伝子検査、血液・尿・毛髪・毛根検査を行います。

【個人情報の保護について】 今回の研究による結果は、だれのものかわからないように匿名化し、プライバシーを保護した形で、学会・論文等に発表させていただきます。また、研究の参加を途中で取りやめたいと望まれる場合は下記問合せ先までご連絡ください。なお、いかなる場合にも不利益を受けることは一切ありません。

【問い合わせ先】 国立病院機構 静岡てんかん・神経医療センター 寺田達弘  
静岡県静岡市葵区漆山886 電話番号:054-245-5446（病院代表）